

県内で催芽に例年より時間がかかっている事例が聞かれます！
種子消毒の薬液は10℃以上、浸種は12～15℃で行いましょう！
浸種期間は2～3日に1回は水替えを行い、積算温度120℃を確保、
浸種したあとは、例年より余裕をもって催芽作業を開始しましょう！
天候に合わせたきめ細やかな管理で「健苗育成」に努めましょう！

○種子の休眠が深いため、催芽作業には例年より時間がかかっている事例が聞かれます。浸種期間の水替えをこまめに行うとともに、積算温度120℃まで浸種を行ったあとは、例年より少し早めに催芽作業（水温を30℃～32℃にし、はと胸状態になるまで芽を出す）に入りましょう。

◎播種作業

- 田植日から逆算し計画的に播種を行いましょう。移植適期は**5月15～20日**です。
- 田植えの遅れは初期生育の遅れの要因に、老化苗は活着不良の要因になります。

☆作業時期の目安【田植えを5月20日にする場合】

田植え日から逆算して
計画的に！

苗の種類	乾籾重 (g/箱)	浸種開始日	催芽日	播種日	育苗期間	葉数 (5月20日)
稚苗	150～180g	4月12日	4月24日	4月25日	20～25日	2.5枚
中苗	80～120g	4月2日	4月14日	4月15日	30～35日	3.5枚

◎育苗期間の温度・水管理

- ハウス内および苗床（被覆資材下）の両方に温度計を設置し、温度確認をこまめに行いましょう。

苗床も
温度を確認！



【低温対策】

- ・保温性の高い資材で温度を確保しましょう。ただし無加温出芽で低温が続く場合、遮光性の高い資材は苗床の地温上昇を抑制し、出芽に時間を要する場合がありますので注意が必要。

【高温対策】 ～ハウス内の気温が40℃を超えるとわずか30分でヤケることがあります～

- ・晴天時は高温障害が発生しやすいので特に注意が必要です。温度が上がる前に早めにハウスを換気する、遮光資材を使う等の対策を取りましょう。
- ・保温マットを使用した場合、晴れた日は苗床の温度が急激に上昇することがあるため、早めに換気、保温マットを除去する等の対策が必要です。

【育苗期間の温度管理】

	昼間	夜間	注意点
出芽時	30～32℃		○無加温出芽は出芽を揃えることがカギ。きめ細やかな管理を行う。
緑化期 (出芽後2～3日)	25℃	15℃	○外気温が25℃以上の日は苗ヤケに要注意！早めにハウスを換気する。
緑化期以降	20～25℃	8℃以上	○低温時には保温に努める。 ○霜が予想される場合は早めにハウスを閉める。

- かん水は午前中に1回が基本です。夕方からのかん水は根張り不良となるため避けましょう。
- プール育苗では、1.5 葉期頃から入水します（上限は床土の高さまで）。**プール育苗の場合は苗が伸びやすいので、夜間5℃以上の場合は、昼夜ともハウスを開放**し、ハウス内気温を低めに管理します。ただし、**低温・降霜が予想される場合はハウスを閉めるなど保温的管理**を行います。2 葉期以降は、育苗箱の上1 c m程度の水深で常時湛水とします。

◎ 育苗期間中の病害対策

- 出芽を揃え、温度管理やかん水を適切に行い、病害を発生させない環境づくりが大切です。カビの発生や苗の生育異常がみられた場合は、早めにご相談ください。

【育苗期間中に発生する病害と対策】

病原菌	主な症状		発生条件	発生抑制のポイント
リゾプス	覆土を覆う白いカビ		出芽時の高温過湿	○33℃以上の高温、過湿にしない
フザリウム	根のまわりに白色～淡紅色のカビ		出芽～緑化期の低温、湿度の変動が大きい	○低温をさけ、適切な温度を保つ ○過湿にしない
ピシウム	カビは見えない、ムレ苗 2 葉期頃に葉の萎凋症状			
トリコデルマ	床土や籾の修正に白色～青緑色のカビ		水分不足、育苗土の低 pH	○33℃以上の高温にしない
苗立枯細菌病 もみ枯細菌病	第2 葉葉身基部の黄白化、枯死、坪枯れ		高温過湿 育苗土の高 pH	○高温過湿にしない ○発生した場合は苗を速やかに処分

◎ 本田への土づくり肥料の積極投入

- 異常気象に負けず、安定的に米の品質・収量を確保するために、「土づくり」は必須です。特に、**ケイ酸資材は①根の活力維持、②登熟能力の向上、③いもち病抵抗性向上**の効果が期待できます。土壌 pH の改善にも有効です。積極的に施用しましょう。

【施用の目安】ケイカル 120 kg/10a

- 土壌からの養分の供給力増加や、登熟不良・品質低下軽減のため、**作土深 15cm** を目標に耕起を行いましょう。

◎ 品種に応じた基肥量の目安

- 基肥は下表を目安にし、良食味米の生産に努めましょう。
- 堆肥を施用する場合は、家畜の種類や原料により成分が異なるので、堆肥の特徴を把握し、散布量を決定します。また、**堆肥を施用した場合は、基肥を減肥しましょう。**

表 品種別の基肥量（窒素量）の目安

品種名	はえぬき	つや姫	雪若丸	コシヒカリ	ひとめぼれ	あきたこまち
窒素成分量 (kg/10a)	5～6	3～4	4～5	3～4	4～5	5～6